

## 稿 本間さんの「8月15日 に思う事」を讀んで 語り継ぐ戦争体験

鈴木重雄（八色木）

平形の本間勇さんは、私と同年生まれで、私より5ヶ月先輩である。昭和1桁生まれの私たちは、満州事変(昭和6(1931)年9月18日)、日中戦争(昭和12(1937)年7月7日)、太平洋戦争(昭和16(1941)年12月8日)と戦争に明け暮れた青少年時代であった。

しかし、当時は戦争一色の世相、表立って反対することを憚らねばならない時代であった。

お兄さんはフィリッピンで戦死されたという。

ご両親の心情は察するに余りあり言うべき言葉もない。

日本の教育は、明治時代から戦争をたたえ子どもたちの上から教え込むだけで、自分で考える習慣をつけない教育であった。

いよいよ戦争が不利になった昭和18(1943)年、兵役義務が20歳から19歳に引き下げられ、さらに18歳以下も強制志願になった。私も強制志願で、航空整備兵として「9月10日舞鶴海兵隊入隊」



鈴木重雄さん

通知が来ていた。

今、集団的自衛権行使、秘密保護法制定などと、日本がもと来た道に変わろうとしている。

今を逸(いつ)としては戦時体験を語る人がいなくなる。

本間さんのいつそうの健筆と語りを願うものである。

## 加藤鉦一議員が市文化会館の工事費増額で質疑 地元建設業者の不信を解決したか 建設バブルとみていないか

鶴岡市議会臨時会が  
22日開かれ、鶴岡市文



化会館改築事業について本体工事費を19億9千万円増額して78億9千万円とする提案がされ、賛成21、反対10の賛成多数で可決されました。

日本共産党市議団は増額補正に反対しました。

加藤鉦一議員は質疑

で、地元建設業界が7月9日付で、設計の特殊さを理由に技術上の問題で参加拒否を申し入れた問題を取り上げました。

加藤議員は、「当局は実施設計の段階から地元業者との研究会を立ち上げて技術上の問題を検討してきたとのことであるなら、参加拒否の理由は口実で、地元業者の市に対する不信が根底にあるのではないか。それをどう解決したのか」と質しました。

五十嵐建設部長は、「申し入れは翻意をしないで、文書は行政判断として公表しなかった。その後業界の考えを聞き、信頼関係が失われてはいないと感じている」と答えました。

加藤議員は、「加茂水族館改築では30億円の事業費だったが、結果として業者が数億円の赤字を負ったという。しかし物価スライド制は適用されなかった。職人不足で朝暘4小の工事が入学式に間に合わないとのことで、水族館の工期を延長し、職人を4小の工事に回して急ピッチで頑張ったが、工期に間に合わず、3つの業者がペナルティとして指名停止の処分を受けた。

文化会館では最初の入札で業者の見積もりが予定価格と十数億円開きがあるのに本体工事費は4億3千万円しか足さず、入札参加を大手ゼネコンに回すなど、これまでの市の対応に不信感があるのではな

いか」と質しました。建設部長は、「加茂水族館では工期の延長等でJVとの話し合いを進めて納得の上でここまで来ている」と答えました。

### バブルは弾ける

加藤鉦一議員は、「建設コストの上昇は建設バブルではないか。

建設バブルであれば、バブルが弾けた後に、文化会館の資産価格が78億9千万円から59億円に下がり、19億9千万円が消えて借金だけが残る可能性がある。この1年間で3割から倍も値段が上がっている。バブルではないか」と質問。

総務部長は、「経済誌や一般紙、ネットなどを見ているが今の状況を建設バブルとする記事は見えない。上昇したものは後でいつかは下がるということではあるが、当面現在の経済社会状況が続くものとの前提で今回の補正を提案している」と答えました。

加藤議員は、「一面では2020年五輪まで膨張するとみられているが、一方、来年度の建設業界の受注額は下がるとのことで、バブルは長くは続かない。80年代バブルや住専バブル、リーマンショックのように、異常な建設費高騰は必ず元に戻る。架空需要は現実需要に引き戻されるといえる。その覚悟が必要だ」と述べました。

# 鷺畑山古墳2号 東北芸工大が発掘

## 9月2(火)〜6日(土)の5日間 現地説明会は6日(土)10時から



北200mほどにあつて、方墳と推定されている古墳2号を発掘することになりました。

調査指導は、これまでも測量調査などをおこなない同古墳群に関わってきた同大歴史遺産学科の北野博司教授が当たり、古墳確定が期待されています。

### 戸籍まで民間委託 足立区役所を「実験場」に 背景に「公務市場化」をあげるアベノミクス

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗8月18日付「とくほつ・特報」である。本来自治体の本体業務である出生・死亡・結婚等の戸籍事務を民間委託にというのである。戸籍住民課窓口の職員は「富士ゼロックシステムサービズ株式会社」の名札を！足立区は1月から窓口業務をこの会社に委託している。さらに介護保険課、会計管理室、健康保険課等の業務も民間委託に拡大し、

区役所1階にある窓口のうち、区職員の対応は福祉事務所と納税課だけにする計画である。「あだち広報は『民間活用』でさらなる『おもてなし』と持ち上げ、「待ち時間半減」「経費削減」などと宣伝している。背景にはやはりアベノミクスがある。安倍内閣は、これまで単純な入力業務に限定していた戸籍事務の委託可能範囲を拡大する通知を出した。「公務市場化」のいつそのうの推進である。しかし、も

昨年9月と今年6月の発掘調査で、鷺畑山古墳1号は円墳と確定しました。これを受けて東北芸工大が9月2日(火)から6日(土)までの日程で、古墳1号の東

つとも委託になじまない戸籍事務が突破されれば、あれもこれもと委託になると住民運動が強まり、東京労働局の是正指導があり窓口業務の大半を委託から撤回させた。自治体は、住民の福祉増進が基本使命で、住民自治で身近にある「民主主義の学校」と教わった。「委託住民」などになってはおれない。

トントントンカラリと隣組… トントントンカラリと隣組、格子を開ければ顔なじみ…は戦時中の歌だ。この歌が戦争に反対だトカの声がチマタに出ないよう相互監視の歌だったと聞いたことがある。▼幾重もの法律で国民の心まで動員し、反対する者を捕らえた。捕らえられた者を非国民と呼び親せき友達まで監視され、仲間はずれに。



しんぶん赤旗8月18日付

▼どんな事情があろうと一銭五厘のハガキが来たら、有無を言わせず指定された時間までその地に行かなければならない徴兵制。▼筆を折られた画学生の如く、百人百様の若い希望があっても強制的に集められ、九段の桜の下で逢おうぜと死地に臨んだ若者達。▼こんな状況で亡くなった者を「命を捧げた」

と皆同じように言っていないでしょうか。目立ちがりやの3人が15日に参拝した報道。▼再び戦争が起きないよう平和を念じてきたトモ。しかしマスコミは、軍備強化に向かう政府を伝えている。▼必要な時は、民間のフエリーでも物も運んでもらいます、と云っていたでしょう。これ即ち戦時中の「徴用」でしょう。有無を言わず戦争に使われ、どこで沈められるかわからない船になるのだ。▼人だつて自衛隊だけとはいかなくなるから石破が言ったように徴兵制になるのは必至。▼またまたソナナ、なんて言ってるうちに外堀が埋められ内堀も。みたところは合法的に戦時体制になる。まずはアメリカに言われて出動となるカモだ。▼これが麻生が言うところの、ヒトラーをマネルということだ、とみるのだが。(石川)

きびちよ



アジア学院研修生13人と職員2人が26日、渡前小学校を訪れ、ヤギの飼育を担当している1・2年生と交流しました。